

1. 日 時 : 2017年2月7日(火)16:00-17:00
2. 出席者数 : 153名
3. 主な質疑内容 :

－ 本資料には、将来見通しに関する記述が含まれています。末尾に注意事項を記載しています。－

Q. 2016年度見通しにおける在庫影響除き経常利益が1,900億円だが、この中に一過性のものはどの程度含まれているか。

A. 金属事業の資源開発と銅製錬において合計▲40億円程度含まれている。

Q. カセロネスに関し、今後追加でどのような改善を行い、黒字転換を目指すのか。また、減損リスクはあるか。

A. 引き続きコスト削減と稼働率の向上に努め、2017年度にはさらにコスト競争力のある形にしたい。

現時点では減損リスクはないとみている。

Q. 2016年度は、設備投資の抑制や資産売却に取り組んでいるとのことであるが、金額としてはどの程度を見込んでいるか。

A. 2016年度の当初計画において、投資キャッシュフローを資産売却ネット後2,900億円にとどめると公表したが、現状そこから変更はない。

以 上

本資料には、将来見通しに関する記述が含まれていますが、実際の結果は、様々な要因により、これらの記述と大きく異なる可能性があります。かかる要因としては、

- (1) マクロ経済の状況またはエネルギー・資源・素材業界における競争環境の変化
- (2) 法律の改正や規制の強化、
- (3) 訴訟等のリスク など

が含まれますが、これらに限定されるものではありません。